【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公開番号】特開2002-31187(P2002-31187A)
【公開日】平成14年1月31日(2002.1.31)
【出願番号】特願2000-212406(P2000-212406)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ１６Ｆ　15/02
　Ｆ１６Ｆ　15/03
　Ｇ０５Ｄ　19/02
　Ｈ０１Ｌ　21/027
【ＦＩ】
　Ｆ１６Ｆ　15/02　　Ａ
　Ｆ１６Ｆ　15/03　　Ｇ
　Ｇ０５Ｄ　19/02　　Ｄ
　Ｈ０１Ｌ　21/30　５０３Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成15年11月6日(2003.11.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
嫌振装置を搭載するための除振台と、
前記除振台を非接触支持し且つ制御力を加える電磁アクチュエータと、
基準位置となる基礎に対する前記除振台の相対変位量を検出して変位信号を出力する変位検出手段と、
前記基礎の振動を検出したときに第１の加速度信号を出力する第１の振動検出手段と、
前記変位信号に所定の補償を施して前記電磁アクチュエータにフィードバックし、前記基準位置に対する前記除振台の相対位置を位置決めするための第１の制御ループと、
前記第１の加速度信号を補償して前記電磁アクチュエータにフィードフォワードし、前記基礎から前記除振台に振動が伝達するのを抑制するための第２の制御ループと、
を具備することを特徴とする除振装置。
【請求項２】
請求項１記載の除振装置であって、
前記除振台の振動を検出したときに第２の加速度信号を出力するための第２の振動検出手段を更に備え、
前記第２の制御ループが、前記第１の加速度信号を誤差信号として、前記第２の加速度信号を参照信号として用いて、前記基礎の振動が前記除振台に伝わるのを防止することを特徴とする除振装置。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の除振装置であって、
前記電磁アクチュエータが、前記除振台に固定した磁性体に磁気力を及ぼすことによって前記除振台を非接触支持するための制御力を印加することを特徴とする除振装置。
【請求項４】
請求項１又は２に記載の除振装置であって、

前記第１の制御ループがＰＩＤ補償器と位相進み・遅れ補償器とを含み、
前記第２の制御ループが、適応アルゴリズムに基づいてフィルタ係数を更新してフィードフォワード信号を形成する適応フィルタを含むことを特徴とする除振装置。
【請求項５】
請求項１又は２に記載の除振装置であって、
前記除振台を支持するための弾性支持部材を更に備えることを特徴とする除振装置。
【請求項６】
請求項１又は２に記載の除振装置であって、
前記除振台が、前記嫌振対象物を支持するテーブル又はステージ板であることを特徴とする除振装置。